



# 平成25年度

## 景観講演会及びまち歩き

群馬県都市計画課 景観・都市行政係

群馬県都市計画協会と群馬県の共催による景観講演会が平成25年10月1日(火)、高崎市総合保健センター(2階第1会議室)で開催されました。

東京大学生物資源環境センター教授の堀繁先生を迎え、「景観からまちの賑わいを考える」をテーマに講演をいただきました。

堀先生は、景観デザイン、景観工学等を専門にされ、山形県の「あつみ温泉」や「銀山温泉」、南会津の道の駅「しもごうエマツト」など、多数のまちづくり、空間整備の設計・指導といった実務のほか、全国各地で景観に関する講演をなさっています。

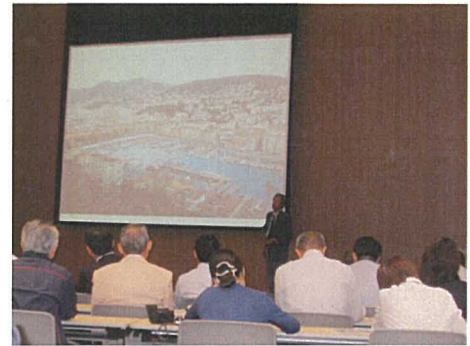
講演会では、100名超の参加者に対して、堀教授は、景観とは何か、初歩の初歩から説き起こし、まちの賑わいにとって如何に景観が重要で密接に関係しているか、豊富な実例を写真で示しながら、わかりやすく解説してくださいました。また、2枚の写真のどちらの景観が良いか、参加者に手を挙げてもらうなど、参加者と一体感のある講演となりました。

講演会終了後には、高崎市職員を中心とした行政職員と堀教授とで、まち歩きに出掛けました。まちの景観は、道、街路と沿道の建物の2つで構成されています。その構成比は道：沿道＝6：4と、人間が一番近い道が評価に大きく影響します。そのため、景観において行政職員が担う責任は大きいこと。また、道路舗装や道の形状、人間をもてなす道の作り方についても教えていただきました。また、まちの賑わいの創出には「ベンチ」「花の鉢」「手書きのイーゼル看板」などのホスピタリティ表現が大切であることを学びました。

「景観とは、人が見ること。」景観について考えるとき大切なのは、主体が人であること、人がどう感じるかであって、私たちは気づかず見逃していることがたくさんありました。「まちなかのオープンカフェで食事を楽しむ人が、まちなかに必要なのか。人は楽しそうにしている人を見て楽しいと感じる。賑わいづくりには、まちなかに桜となる人が集まる場所が大切である。」など、言われてみれば確かにそうだなと納得させられるものばかりでした。

高崎での開催に続き、10月22日(火)13時から下仁田町役場(2階201大会議室)で景観講演会を開催しました。

「景観を使った元気なまちづくり」をテーマに、高崎とはちがった切り口で、景観とまちづくりについて、堀教授が懇切丁寧に解説してくださいました。



### 第三弾：館林市で景観講演会を開催します

11月25日(月)に館林市で景観講演会を開催する予定です。

講演会のテーマは現在調整中です。近日中に皆さんにご案内できますので、ふるってご参加ください。

